



## 第26回(通算68回) ジャパン建材フェアまで 8月26日(金)・27日(土)

あと  
25日!

今回のテーマは復興支援『頑張ろう！ JAPAN』  
第25回ジャパン建材フェアを急遽中止とさせていただいたためにご紹介できなかった商品、さらに新登場の商品、売れ筋商品、最新情報を満載しての展示即売会です。  
全国の皆様のお越しを心よりお待ちしております。  
フェア詳細→4-5ページ



### ジャパン建材 木材・プレカット部 木材課

## 直接輸入して日本のマーケットにお届けするシステムで 良質な製材品の安定供給に努めています！

■欧州からの代表格は日本でシェア1、2を争う「ホワイトウッド完成品」

寸法安定性に優れた欧州からの製材品は、日本の大工・工務店様から高い支持を得ています。製造元は、オーストリアの首都ウィーンに本社があるシュバイホファー (Holzindustrie Schweighofer) 社で、工場は欧州中央東部に位置するルーマニア国内にあります。

ジャパン建材が輸入している製材品は、東欧の林区で伐採された原木をルーマニア西部の Sebes 工場 (年間投入丸太量 130 万 m<sup>3</sup>) とルーマニア北部の Radauti 工場 (年間投入丸太量 130 万 m<sup>3</sup>) で加工され、黒海に面した Constanta 港で船積みさ

れ、地中海を通過してスエズ運河を経由し、日本に届けられています。

■密度が高く、寸法安定性に優れた高品質の「ベイマツ KD 羽柄材」も好評

北米育ちの丸太も高い密度が特長で、寸法安定性に優れ、日本の在来木軸工法向けに適した KD 製材品を直接輸入しています。

その一つがカナダのカラシニコフ (Kalesnikoff) 社で製造される「ベイマツ KD 羽柄材」です。同社は Kootenay Lake Forest (年間 5 万 m<sup>3</sup> が伐採可能、30% をベイマツが占める) を林区として、持続可能な森林資源による高品質の製品づくりが進められています。



シュバイホファー社丸太加工現場



適正管理されるシュバイホファー社倉庫

※『第26回ジャパン建材フェア』展示会場でも木材課取扱製材品を詳しくご紹介します。木材コーナーへ是非お立ち寄りください。

## 「合板木材業界東北大震災救援募金」 総額 1 億 3,487 万 9,785 円 日本赤十字社へ



東日本大震災は、東北地方の合板木材生産拠点にも甚大な被害をもたらしました。日本合板商業組合・日本合板工業組合連合会・日本木材輸入協会の合板木材関係3団体が一致団結して募金活動を行って集まった義援金目録が、6月24日、3団体代表によって日本赤十字社社長 近衛忠輝氏に直接手渡され、同時に、一日も早く被災地に届くよう要請が行われました。

\* 5月28日、新木場タワーで開催した東日本復興支援「ブルズフェア」会場の皆様からお預かりした義援金も、日本赤十字社に寄託されました。

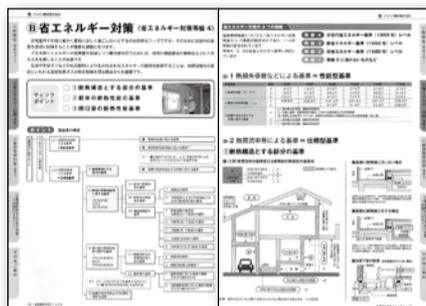
平成23度ジャパン建材標語  
頑張ろう！ JAPAN  
元気で明るく前向きに

必携！  
『長期優良住宅マニュアル』  
100%活用法 ③

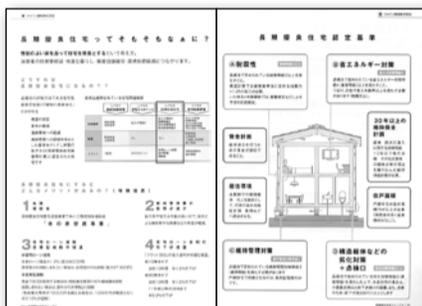
# これであなたも長期の達人！

## 「木のいえ促進事業」補助金終了。 それでも、やはり長期優良住宅は有利！

長期優良住宅の補助金が終了することで、まるで長期優良住宅自体の認定制度が終了するかのようになっているような質問が出されることがありますが、認定は今後も続きます。それどころか、耐震等級と省エネルギー等級を備えている長期優良住宅は、ますますスタンダード化へ向かいます。補助金は、その手始めに普及を目的として実施されたものです。これからも補助金以外のメリットを利用して手がけてください。



▲省エネルギー等級 4  
(マニュアル P.18 ~)



▲メリット  
(マニュアル P.4 ~ P.5)

## 本当は怖い！長期優良住宅

マニュアルの5ページにさりげなく記載した「30年以上の維持保全計画」ですが、これを長期の認定通知書を取るための必要書類と簡単に捉えてしまっている人が多いようです。

しかし、ここには戦略的な長期優良住宅の側面があります。30年間には、その家に住む方のライフスタイルが変化します。新築時5歳のお子さんは35歳、30歳の方は60歳で定年を向えているかもしれません。居住人数の増減もあり、家計の収支も子育てのピークを迎えたり、それを乗り越えたりしながら変化します。

住宅そのものも、設備関係の修理・交換を2度は経験していることが多いはず。メンテナンスのために定期的に訪問してくれる工

務店さんがいれば、ほとんどの場合、次のリフォームもその工務店さんに相談があります。ということは、この維持保全計画こそが宝の山です。法的に守られた営業活動と捉えて、しっかり利用してください。



▲30年以上の維持保全計画  
(マニュアル P.5)

それには、まず長期優良住宅を手がけることが大切です。

詳しい長期マニュアルの解説はサポートセンターへご依頼ください。

### 省エネルギー対策等級 4 のポイント

室内の快適な住環境を作り出すには、冬は暖かく、夏は涼しい居心地の良い温度設定をしなければなりません。それには、構造躯体の断熱化を十分に施す必要があり、長期優良住宅では品確法で定められている省エネルギー対策等級 4（最高等級）以上を満たさなくてはなりません。

#### 外断熱建築の場合

充填断熱工法や内断熱に比べ、躯体の断熱性能の基準値が断然有利になります。

単純に外側に断熱を施す（外断熱）だけで省エネ効果があります。それは熱損失を小さくできるからです。

日本では外断熱は特殊な物と思われがちですが、それは日本だけのことで、世界的に見れば外断熱は当たり前の工法です。欧州には外断熱という言葉がありません。なぜなら外側に断熱を入れるのは当たり前の事だからです。

しかし、日本の建築学校の先生方は外断熱について充分理解できていないこともあり、授業では外断熱を取上げていない現実があります。つまり、それだけ日本は“外断熱の後進国”と言ってもおかしくない状況です。

大規模建築を見て頂くとわかりますが、ほとんどの建築は、いまだに内側に断熱（内断熱）を採用しています。建築物の寿命や、結露からくるシックハウス（身体への影響）について正しく理解している設計者は少ないのが現状です。

それでも10年前に比べ、外断熱について本気で書かれた本が何冊か出版され、ゆっくりではありますが、世界基準へ着実に一步一步前進しています。

JKサポートセンターとしては、JKSC外側断熱システムとして、北海道で生まれた外側断熱用ブラケット「KMブラケット」を採用のJKSC外側断熱システムを本格エコハウスのシステムとして推薦しています。

断熱材、換気、サッシ、ビス、防湿シート、気密シート等の総合的な提案をできればと考えています。

『JKサポートセンター長期優良住宅マニュアル』には、長期優良住宅の技術的な解説だけでなく、解説項目ごとに「推奨商品」を掲載。どんな住宅建材を使えば長期優良住宅ができるかも即わかるので、営業ツールとしてもフルに活用いただけるマニュアルです。

# トップ対談

代表取締役会長

大丸 敏二 様

だいまる としじ

【プロフィール】

1924（大正13）年生まれ。戦後、東京月島の製材工場で米軍との渉外の仕事を始めたのが縁で材木問屋に入り、産地での仕入れから競りまで一貫して手掛ける。1959年独立、無借金経営を基本に柔軟に変化に対応して経営基盤を確立。



代表取締役社長

大丸 毅 様

だいまる たけし

【プロフィール】

1955（昭和30）年、東京深川の生まれ。職住近接の家業を身近に感じながら成長。学生時代から家業を手伝い、後継者としての素地を培う。大学卒業後3年間、松下電工の営業として修業。2000（平成12）年、代表取締役社長に就任。



## 大丸木材 株式会社

【会社概要】

創業 1959（昭和34）年  
本社 東京都練馬区谷原 2-6-52  
資本金 1,000万円  
従業員数 12名  
年商 6億円  
1959年、大丸材木店として個人創業。  
1970年に法人改組、「大丸木材株式会社」とする。  
松下電工チェーン店会に加盟、浄化槽や深夜電力のセントラルヒーティングなどの住設機器の取扱にも積極的に取り組む。1977年に住設機器販売部門を大丸木材から分離、大和建商を立ち上

げ、「株式会社大和建商」として法人化。その社長に現会長が就任、毅氏が専務として松下電工で鍛えた営業力を発揮、業績を拡大する。同時に大丸木材は、木造の住まいづくりに欠かせない構造材・造作材・外装材などを「何でも間に合う大丸木材」を社是として円滑な資材供給に努める。加えて、造作工事の請負と、確かな技術をもつ“大工さんが手配できる”木材・建材販売店として地域に根ざした営業を活発に展開している。

創業から52年、「何でも間に合う大丸木材」で、地域の大工・工務店様に喜んでいただき、社員・従業員が働き甲斐のもてる、継続する会社を目指しています。

### 現役の会長が創業者

大久保 創業されたのは大丸会長ですね。

大丸（敏） はい。私は、国立横浜高等商業学校を出て、当時、水力発電のタービンや電気機関等の重電関係を手掛けていた三菱電機本社の軍需部に就職しましたが、1カ月後に召集令状が来ましてね。前橋陸軍予備士官学校で特攻要員として榛名山での苛酷な山岳訓練を約半年受けました。卒業のときは特攻に志願の血判も押しましたが、結局、海外には行けず、国内で終戦を迎えました。

大久保 この業界に入られたのは第二次世界大戦後ですね。

大丸（敏） はい。昭和20年秋に月島の叔父を頼って東京に戻りました。元の職場に復帰したいと思ったのですが、財閥解体令でいつ再開できるかわからない、再開時には所帯持ちを優先したいとのことでしたので退職を決めました。

大久保 東京は焼け野原だったでしょう。

大丸（敏） 当時、東京で唯一戦禍を免れた東京都地方木材統制会社の製材工場が月島の岸壁に残っていて、そこで米軍と渉外ができる人を探しているという話があったので、一も二もなく働くことにしました。

当時、米軍兵舎および施設等を作るための木材を米兵が予告もなく工場内を物色して持ち去る状況だったので、日付とサインだけのメモ紙が大量にあり、その代金を回収するのが最初の仕事で、それにはGHQ本部に行くしかない、意を決して乗り込んだところ、事はスムーズに運び、代金約500万円は1カ月後に小切手で支払われることになりました。

大久保 ほおう。当時の500万円というと、かなりの金額ですね。

大丸（敏） 今の貨幣価値に換算すると5億円以上でしょう。それからは米軍と正規の取引ができるようになり、その窓口として約1年半働きました。それが、私がこの業界に入るきっかけになりました。

### 自分のスタンスを明確にもつ

大丸（敏） 木材統制が昭和22年に撤廃されたのを機に東京深川富岡町2丁目の飯島栄蔵さんに請われて丸栄商店で13年間お世話になりました。

大久保 今の新木場の丸栄木材さんですか。

大丸（敏） はい。朝早くから夜中まで働き、木材産地での仕入れから市場で競り売りもする忙しい日々でしたが、独立を決意し、小売店を始めることになりました。

大久保 問屋と小売店とはかなり勝手が違ったでしょうね。

大丸（敏） 問屋時代は、丸栄木材の大丸と言えば、当時、木場内で知らない人はいないくらい、よく稼ぎ、有名になりましたが、問屋と小売店とは全く商談の仕方が違います。大工・工務店さんとスムーズに話ができるまでに1年ほどかかりました。

### 喜んでもらえる企業を継続

大久保 創業されたときから本社はこちらの練馬区谷原ですか。

大丸（敏） 創業の地は、今は大和建商の営業所がある目白通りに面した練馬区高野台です。営業拠点が4箇所ほどに増えた頃、東京オリンピックのため目白通り拡幅で現在地へ移転しました。

大久保 東京郊外へ住宅街が広がった時期とも重なりましたね。

大丸（敏） 朝も早くから夜遅くまで無我夢中で働き、創業資金として借りた350万円+利息100万円を3年間で飯島社長に返済することができて、飲まず食わずの極貧から、気持ちも生活も多少楽になりました。

私が独立するときに参考になったのは、昭和26年の朝鮮特需後に倒産する会社を数多く目の当たりにしたことです。儲かれば良いというのではなく、企業が健全に存続して買っていただくお客様に喜んでいただける、社員・従業員にも満足してもらえるような給与・賞与も払えることが会社の社会的な役割ですから、どんな経済状況であれ、自分のスタンスを明確にもち、「会社は小さくても、良い会社として存続することが大切」という考えで今日まで続けてきました。

大久保 景気が良いときには事業を拡大したくなるものですが、地道な努力を怠

らない商売を続けるということですね。大丸（敏） その点、銀行借入なしの自前の組織であれば、商売のやり方も経済状況に応じて容易に切り換えられますからね。大久保 世の中の動きに合わせて臨機応変に変わることのできる組織であることが、一番の強みということですね。

大丸（敏） それで50年間もちましたので、次を社長、もっか他社で修業中の三代目も頑張ってくれと思っています。

大久保 後継者問題がこの業界の大きな課題になっていますが、大丸木材さんはそれをクリアしていらっしゃる、素晴らしいことです。

### きめ細やかな商売で健全経営を

大久保 私が旧丸吉の府中営業所所長時代、大丸会長が社長さんだった頃によくお邪魔していました。そのときに「大和建商もあるから、そちらにも行くといいよ」と仰っていただきました。当時、大和建商さんは住設機器が中心でしたね。

大丸（毅） 今も水廻り商品が中心で、基礎資材、太陽光発電システムなども取り扱っています。

大久保 大丸木材さんのほうは、主に木材・建材を扱っていらっしゃるんですね。2社の販売先は同じですか。

大丸（毅） かつては、ほぼ同じでしたが、最近は違ってきています。

大久保 会社を分けることによって市場に広がりが出てきているんですね。

大丸（毅） もちろん、共通のお客様もありますが、常に情報交換をし、新規開拓は協力して進めるなど、それぞれの得意分野が融合できるメリットがあります。

大久保 私どもの府中営業所と中野営業所をご愛顧いただいていることでも選択肢を広くもっていただける、多店舗展開ならではの利点をご活用いただいているのではないかと思います。

大丸（毅） 情報社会ですから、窓口の広さが情報の多さにも繋がっていると思います。そういう意味でも、ジャパン建材さんの、年を追うごとに改革しながら取り組んでいらっしゃる展開ぶり、これは注目の的です。

大久保 ありがとうございます。

### 「何でも間に合う大丸木材」

大久保 大丸社長が二代目社長に就任されて、今年で11年ですか。

大丸（敏） 木材を扱うには10年かかります。それが良い点であり、悪い点でもあるのですが、ようやく安心して任せられるようになりました。私が出る幕はありません。

大久保 木材は奥が深いですね。私どももプレカットを月間約400棟受注し、木材・プレカット合わせて年間約120億円の売上がありますが、まだまだ合板やLVLの延長線上で販売できるものが中心で、柱や羽柄材の受注量もこれから伸ばしていきたいと思っています。

大丸木材さんではどのようなことに力を入れていらっしゃいますか。

大丸（毅） 社是の「何でも間に合う大丸木材」ということを大事にしています。「ブランド」とか「キャッチフレーズ」とかは「コマーシャル」であると共に、その会社の「意欲と強い志の表現」だと確信しています。また、景気の好、不況に拘わらず常に進取・開拓の精神は持ちつづける心算です。

大久保 在庫がない場合も、ニーズに対応する努力をするという意味の「間に合う」ですね。このフレーズは、前向きな大丸木材さんの姿勢を端的に表わしていて、とても良いと思います。

大丸（毅） 実は、これまでに社是・社訓を創るためのセミナーにも参加していましたが、この言葉が当社には一番相応しい、と思います。

さらに、毎日の朝礼のときに全員で唱和できるような社訓を創ることが、私のこれからの課題の一つです。

大久保 社員・従業員が心一つにして頑張っていく、よりどころとなるようなものができると思います。

昨年後半、住宅市場の縮小に合わせて生産抑制を図ってきた矢先の急激な需要増による断熱材不足、さらに3月11日の東日本大震災でメーカー工場が被災するなど、思うようにお客様の需要に応えられなかったことは、問屋である我々も非常に残念に思っています。こうした状況を一日も早く打開するための努力を続けています。その一つとして、ジャパン建材が今年4月14日に国土交通大臣の「F☆☆☆☆」認定を取得したJM社製の住宅向けグラスウール断熱材の取り扱いも始めました。

ジャパン建材も、“住宅に必要なものは何でも揃う”をモットーに、商品開発・仕入れルート開拓を続けて参りますので未永くご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。お話し、ありがとうございました。



みどころ  
最新情報  
いっぱい

# 第26回(通算68回) ジャパン建材フェア 復興支援『がんばろう！ JAPAN』

新商品・最新情報を満載して開催します。  
200社を超える建築資材・住宅関連機器メーカーが一堂に会して  
ご提案する新商品・売れ筋商品の数々、ジャパン建材の「独自企  
画ブース」「快適住実セミナー」もお見逃しなく！  
順路に沿ってお進みいただくと、各コーナー・ブースを漏れなく  
ご覧いただけます！

## ① 特設コーナー『特価市場』

### 数量限定、早い者勝ち!!

“良い品をどこよりもお安く”ご用意して、皆様のお越しをお待ちし  
ております！売切れにて終了しますので、フェアご来場の際は、まず  
は『特価市場』へ!!

※お買い得商品の詳細は、  
『第26回ジャパン建材  
フェア』ご来場当日に配  
布します。



## ② JK 木構造グループ

### “非住宅木造建築・設計から 施工管理まで”

公共建築物だけでなく、コンビニや保育園、老人施設等の民間の建築  
物にも積極的に木構造を取り入れる機運が高まっています。そうした  
建築物を実現するのに不可欠な木構  
造設計・施工管理の最先端技術とノ  
ウハウを、本格的な木構造時代到来  
に先駆けてご紹介し、受注します！



## ③ ジャパン建材 輸入合板・国内合板各ブース

### 輸入合板ブース

長期優良住宅に必要な高い性能の木造構造躯体を実現する構造材（カナ  
ダウッドカナダツガ・パートナー協会）や OSB (APA エンジニアード・ウッ  
ド協会)などを展示即売！

■ 高い壁倍率(4級またはそれ以上)を取得している枠組壁(2×4)工法・  
木造軸組工法向け OSB (オリエンテッド・ストランド・ボード) JAS  
構造用パネル (F☆☆☆☆) は、耐久性・耐震性、性能の高い住宅が  
実現できます。

なかでも日本市場で15年を超える実績があり、APA エンジニアード・  
ウッド協会の品質管理のもと JAS 認定を受けた全4工場で年間合計約  
200万㎡の生産能力で安  
定供給が可能、かつ SFI  
と PEFC の「CoC 認証」  
を取得した環境配慮型商  
品エイズワース社製  
OSBにご注目ください！



### 国内合板ブース

日本国内で生産される合板商品を一堂に集めて展示即売！

何でもお尋ねください!!

- 耐久性・耐震性の高い、強い家づくりに欠かせない床・野地構造用合  
板『ネダノン』
- 45分準耐火構造(床)用『ネダノン QF45』
- 耐力壁用『ネダノンスタッドレス 5+』
- 繰り返し使えて環境にやさしい型枠用塗装合板  
など、多彩に取り揃えています。

## 4 木材コーナー

### 木の香りがお出迎え！

個性的な表情をもつ木との出会いは“一期一会”ともいわれます。そんな出会いが、あなたを待っています!!木の香りに包まれ、木を見て、木に触れ、木を身近に感じてください!!

■ 森林認証に基づく優良木材を、今までになかった規模に拡大して展示即売。

“適材適所”の木材をご提案。

■ 一本の木から最も美しい木目の表情を導き出す匠の技=江戸木挽き。今回初めて、ジャパン建材フェアに登場します!

★一番の見どころが近づいた時点で場内アナウンスでお知らせします。お見逃しなく!!



26日・27日の2日間、屋久杉の大径木を大鋸一本で挽き、美しい木目の断面を切り出す伝統の技をご披露いただきます。



日本の木づかいの伝統を受け継ぐ江戸木挽き「林組」代表の 林 以一 氏  
(木挽きの醍醐味)

「一本の大木をどうやって挽けば最も美しい面がとれるか。木挽きは木を読み、一丁の大鋸でそれをこなす。木を読む・木を取る・挽き割る木挽きの技術の元、樹種・産地・状態を見極め、規格に囚われないその木に最適な造材を行う。」(「林組」ホームページより)

## 5 ジャパン建材 快適住実コーナー

耐久性・耐震性、さらに省エネルギー性の高い住まいづくり、長期にわたるメンテナンスもしやすく、履歴情報の整備・管理にも活用できる住宅にかかわる最新の技術・情報を発信します!

■ ジャパン建材オリジナル『D & J工法』による躯体実物大見本や、『オール電化パッケージ』、「給排水ヘッダーシステム」などをプレゼンします。



## 6 JK サポートセンター

お施主様の満足が得られ、安心して住まいづくりを任せてもらえるよう工務店様を応援する各種サポートのご提供、住宅瑕疵担保保険(新築・リフォーム)・火災保険・地震保険等の取次ぎも行います!

今回は、長期優良住宅から究極の省エネ住宅実現のためのノウハウとして「外断熱の家」と「電気の見える化」がメインテーマです。

■ 実際に体感いただける「外断熱の家」をブース内に設置。

■ 住宅業界で今一番の注目株は、温室効果ガス削減に向けて住まいの消費電力が把握できる「HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)」。そのメリットを最大に生かすための『電気の見える化』が体験いただける展示を行い、大手ハウスメーカーに負けない「スマートハウス」づくりを目指す工務店様のためのノウハウをご提供!

## 7 Bulls コーナー

ジャパン建材の独自企画ブースの中で最大面積を占める Bulls コーナー。小さなものから大きなものまで魅力あふれる300アイテムを超える商品群、参考商品などを一堂に集めてご提案します!じっくり見て、触れて、選んでください。



Bulls コーナーにて当日(会場で)お買い上げいただいた皆様に Bulls 特製"こすると消える"フリクションペンをプレゼントします。

## 業界初の新ステンレス素材、NSSCF®W1 を使用

## 『ステンレスキャビネットキッチン クリンレディ』

クリナップ株式会社

クリンレディは累計販売 120 万セットを超えるロングセラー商品、日本で一番売れているシステムキッチンだ。6月に発売された『ステンレスキャビネットキッチン クリンレディ』は、木製からステンレスキャビネットになって、値段据え置きで新登場。顧客満足度は90%以上(S.S.調査より)という優れモノだ。



シンプルプラン 1型 間口 255cm 498,000円～(税抜き)  
おすすめ 基本プラン 1型 間口 255cm 598,000円～(税抜き)

## 【エコを極めた NSSCF®FW1 を使用】

クリンレディは業界初の新ステンレス素材、NSSCF®FW1 を使用。ステンレスはリサイクル率 80%以上だが、NSSCF®FW1 はさらにステンレスから希少金属を 46%削減し、エコを極めた素材を使用している。

## 【リサイクルし易さを考えたエコ】

クリンレディのステンレス エコキャビネットは、余計な部品を必要としない、強度に優れた構造体。リサイクルし易いように解体が容易にできる“簡易分解構造”を採用。キャビネットをステンレス エコキャビネットにすることで、「清潔・長寿命・エコ」なキッチンを実現した。

【ステンレス加工技術を駆使し、購入時のキレイをキープ】あらゆる部分にステンレス加工技術を生かし、クリーン性能やデザインを極めた理想のキッチン。ワークトップ、シンク底面に特殊エンボス加工を施しているためキズがつきにくい。シンク表面、排水口プレート、「とってもクリーンフード」のレンジフードフィルターには親水性特殊コーティングを施し、汚れがつきにくく、掃除が楽にできる。扉は、無機質なステンレスの印象を払拭するエレガント性を高めたカラー。汚れやすい引出底板もステンレスが選べる。

## 【収納力・使い勝手をさらに UP】

間口 150cm～180cmのワイドな昇降式吊り戸棚や、引出を開くと収納物が上がってくる「うきうきポケット」に調理中に使うキッチンツールの70%を収納。楽な姿勢で出し入れできてストレスフリー。オールスライド収納、フロアコンテナ収納で収納力だけでなく、動線に合わせた収納設計を実現する。

## シナ合板に替わる新商品

## あらゆる用途にジャストフィットする『ジャストパネル』

株式会社ウッドテック

シナ合板の価格が急騰する中、安価で提供できる『ジャストパネル』。美しい柾目で和洋の区別なく利用できる。

## 【和洋の区別なく利用できる】

“シナ合板に替わる新商品”が『ジャストパネル』の開発コンセプト。オールポプラで構成された合板(5プライ)の表面に柾目単板を使用することでリーズナブル価格が実現した。

## 【美しい表情を色で楽しむ】

無塗装のままでの使用も、きれいな白木を楽しむが自然塗料(浸透性)で塗装することで、ムラなく綺麗な仕上がりを楽しめる。和洋を問わず利用可能な内装材だ。

天井にご利用頂いた事例は、綺麗な市松模様の施工でお施主様に大好評。

サイズは 4mm、5.5mm厚、910 × 1820 (2420 もある)。





長期優良住宅・フラット 35S・住宅エコポイント対応断熱材  
環境にやさしい、ゼロホルムアルデヒド

ここがポイント!

# 『Bulls グラスウール断熱材 ComfortTherm (コンフォートサーム)』

## ■ F☆☆☆☆適合グラスウール断熱材です

建築基準法に基づき、大臣認定による規制対象外のホルムアルデヒド発散建築材料「F☆☆☆☆」に適合するグラスウール断熱材であることが認められています。

グラスウール断熱材において、規制対象外のホルムアルデヒド発散建築材料 F☆☆☆☆の規定に適合するものであることを証明するためには、次のいずれかが必要です。

- ① JIS 規格による「F☆☆☆☆」表示のある JIS マーク
- ② 規制対象外とみなす旨の大臣認定書  
すなわち、JIS マーク表示がなくても、大臣認定によって「F☆☆☆☆」を証明することが可能です。



認定番号：MFN-2689

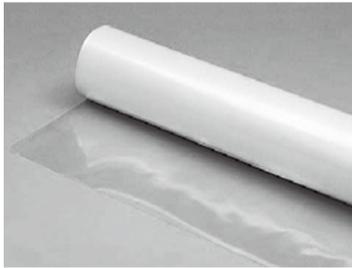
〈用途〉住宅用グラスウール断熱材  
 〈対応基準〉(II~VI) 地域は次世代省エネ基準 (省エネ対応等級 4) 対応可  
※等級 4 を満たす場合は、別張り防湿層 (推奨品: Bulls 防湿・気密シート) が必要です。  
 〈対応部位〉屋根・天井・壁



商品名	商品コード	熱抵抗値	密度	サイズ	入数	相当坪数	対応部位
Comfort Therm	JMGP432	2.4	16kg相当	95mm×432mm×2667mm	11	3.8	屋根・天井・壁
Unfaced <small>(ポリエチレンフィルムなし)</small>	JMG432	2.3	16kg相当	95mm×432mm×2667mm	11	3.8	屋根・天井・壁

## ■ 推奨品 『Bulls 防湿・気密シート』

長期優良住宅に欠かせない次世代省エネルギー基準を達成するためには住宅の気密化が必要であり、防湿・気密シートを用いることで住宅の高気密化・断熱化が図れます。



住宅用プラスチック系  
防湿フィルム  
JIS A 6930 準拠

品番	厚み (mm)	サイズ	梱包数
GS-KS100B	0.1	1000mm×100M	2本
GS-KW100B	0.1	2100mm× 50M	2本
GS-KS200B	0.2	1000mm×100M	1本
GS-KW200B	0.2	2100mm× 50M	1本

## 第3回『木と合板』写真コンテスト

作品募集

木材・合板博物館では『木と合板』写真コンテストを、今年度も開催いたします。第3回を迎える今回は、一般の部、学生の部の垣根を取り払い「一般の部」へと統合しました。それに加え、昨年度好評だった「フォト5・7・5の部」、今年度より新設された「建材の部」と、計3部門での募集を行います。募集方法も昨までの「郵送」に、「Eメール」と「博物館内の応募箱」も加わり、より応募しやすくなりました。もちろん、特別審査委員には巨樹カメラマンの吉田繁氏をお迎えしております。皆様ぜひ、奮ってご参加ください!!

◆作品募集期間◆

～8月31日(水)まで [締切日の消印有効]

◆募集部門と作品テーマ◆

①一般の部

「木」または「合板」を、「やすらぎ」「挑戦」「復興」いずれかのキーワードでとらえて表現してください。

②フォト5・7・5の部

「木」または「合板」をテーマに撮影した写真に、川柳つけてセットで応募していただきます。あなたが写真に収めた世界を、5・7・5の言葉で表現してください。

③建材の部

建材としての「木」または「合板」を表現してください。

◆応募方法◆

応募用紙に必要事項を記入のうえ、応募作品1作品に1枚(組写真の場合は1組に1枚)添付し、「郵送」「博物館内の応募箱」「Eメール」のいずれかにて、ご応募ください。

詳細・応募用紙のダウンロードは <http://www.woodmuseum.jp/photo-con/>



めざせ  
地域活性化隊

ジャパン建材株式会社  
東日本グループ  
首都圏第二営業部  
沼津営業所



所長 縣 孝仁

## 平素は、販売店様をはじめメーカー様、商社様には 格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

沼津市は首都100km圏に位置する静岡県東部にあって恵まれた自然環境と優位な地理的条件のもとで、東駿河湾地域、伊豆方面への交通拠点あるいは、広域的な商業・文化拠点として、古くからこの地域の政治、経済、文化の中心的役割を担ってきました。奥駿河湾越しに見る富士山、緑濃い千本松原、街の中心部を流れる狩野川などの豊かな自然を生かしながら、静岡県東部の雄都にふさわしい都市機能の充実を図り、人々が訪れ、集い、にぎわい、人々が引きつけられる魅力にあふれる街です。

沼津営業所はこのような恵まれた環境の中12名のスタッフで、お客様や仕入先様のご協力を頂きながら、JK首都圏サポートセンターと連携をとり、工務店様やお施主様のお役に立てるように努力していきますので、今後とも宜しくお願い致します。

### ◆ご案内

今秋も、恒例の『第13回神奈川・静岡合同ジャパン建材フェア』を10月13日(木)に横浜産業貿易センタービル'マリネリア'にて開催します。当日限定の大特価商品を数

多く用意して、皆様のご来場をお待ちしております。



富士山と駿河湾



ジャパン建材 合板部  
部長 内藤 裕之

### ■新設住宅着工状況

5月の新設住宅着工戸数が63,726戸(前年同月比106.4%)と発表され、前年同月比では、2カ月連続の増加となった。ただし、増加したのはマンションが大幅増となったため、持ち家は19カ月ぶりに前年割れ、貸し家は8カ月連続の減少。木造住宅に関しては34,126戸(前年同月比97.6%)、一戸建は、8,796戸(前年比1.8%減)でこれまで好調が続いてきた戸建分譲が17カ月ぶりにマイナスとなったが、これは昨年5月の水準が高かったことも影響している。木造比率は52.9%と依然50%以上をキープしている。

なお、東北6県の着工戸数は2,447戸で29.6%減少している。

### ■国内合板の不足品目に変化

5月の国内合板生産量は4月同様、宮城、岩手県を含まない数字となるが、18.8万 $\text{m}^3$ (対前年比87.9%)と発表された。そのうち、針葉樹合板の生産量が16.3万 $\text{m}^3$ (同88.3%)、出荷量は17.0万 $\text{m}^3$ (同89.7%)となった。4月からメーカーはフル生産しているが需要に追いつかず、在荷量は前月比7.4%減の7.8万 $\text{m}^3$ と更に減った。

国内針葉樹合板は入荷されると即完売の状況。一時の極端な品薄感緩和したものの思いどおりの調達には程遠い。ただし西へ向かう程に動きは低迷しており、必要以上の手当てをしたところは消化が遅れている。

被災工場では操業再開に向け作業を進めており、僅かながら生産を始めた工場もある。合板メーカーは先月同様可能な限り生産量を引き上げており、フル操業を展開しているが、7月においても現状の在庫量は非常に少ない。

アイテムによってタイトな状況が続く、実需に即して不足品目に変化してきている。多少東西地域差はあっても全国的によほど需要が落ち込まない限り、しばらくは逼迫した状況は続くと思われる。

### ■輸入合板の動き

輸入合板は流通筋の手持ち在庫がまとまったことと、ここ数カ月の入荷増で一部アイテムでは弱含みだが、現状消化している原木が高値であることと、今後の入荷玉は一段高であり、メーカー側は製品価格を更に底上げしたい意向である。震災直後の発注玉が5月~6月で大量に入荷し港頭在庫が増加しておりこの状況が変わらないものと予想でき、しばらくは売り買い双方のみ合いが続く展開となる。

JK お客様  
センター

お聞かせ下さい。お客様の声！  
フリーダイヤル 0120 (563) 568 受付時間：平日 8:30 ~ 17:20  
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休暇は、受付を休ませていただきます。

企画  
発行

ジャパン建材株式会社 JK 情報センター

〒136-8405 東京都江東区新木場 1-7-22  
TEL:03-5534-3711 (代) FAX:03-5534-3855 (代)  
URL:http://www.jkenzai.co.jp